



ハイライトよねやま 189

2015年12月14日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 今年もあと半月、ご寄付はお早目に —

11月までの寄付金は前年同期と比べて0.5%増（普通寄付金0.8%増、特別寄付金0.3%増）、約330万円の増加となりました。7月から累計した寄付額が11月末の時点で7億円の大台に乗るのは、昨年につづき2年連続となります。皆様からのご支援に厚く御礼申し上げます。

12月は例年、特別寄付金を最も多く納入いただいている月です。今年も残すところあと半月ほどとなりました。確定申告を予定されている方は12月30日（水）までに着金くださいますよう、ご送金をよろしくお願い申し上げます。

ロータリー研究会で米山奨学事業をPR！



12月1～4日、東京・台場で第44回ロータリー研究会が開催され、4人のよねやま親善大使が登壇してそれぞれの「ロータリーモーメント（心に残るロータリー体験）」を発表しました。3日には、楊小平さんが「大きな家族」、スチッタ・グナセカラさんが「ロータリアンの皆さん、もっと喜んでください」と題したスピーチを、4日には、金福漢さんが「障害のある仲間とともに生きる」、于咏さんが「You Raise Me Up, Rotary!!」を発表。各人のスピーチに会場から大きな拍手と賞賛が贈られ、フィリピンのギーラー E. タマンガンRI理事から「ぜひ英訳原稿が欲しい」との要望をいただくほどでした。

また、3日午前の配偶者茶話会では、日本のロータリアンが推進する米山奨学事業をテーマとし、よねやま親善大使2人のスピーチのほか、第2580地区現役米山奨学生3人が日本に来て驚いたことなどのエピソードを発表、各テーブルで配偶者の方々との交流も深めました。最後に、東京芸術大学で学ぶ2人の奨学生による篠笛、竹笛、三味線を使った圧巻の演奏が披露され、大変な盛り上がりを見せました。

2016-17年度地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

次年度（2016-17年度）の地区米山記念奨学委員長対象の第1回セミナーを12月1日、都内で開催しました。午前は下記5つの講義が行われました。

【テーマ】

- ・学友をロータリアンとして迎える
- ・自立した学友会運営
- ・理解促進から寄付増進につなげる
- ・渡日前採用奨学金の可能性
- ・米山奨学委員長の一年間

【講師】

- | | |
|-------------|-------|
| 第2750地区元委員長 | 関 博子氏 |
| 関西学友会前会長 | 何 玉翠氏 |
| 第2760地区元委員長 | 伊藤敦夫氏 |
| 前評議員 | 前田靖文氏 |
| 理事 | 安増惇夫氏 |



また、午後は、「基礎・面接の工夫」「寄付増進・世話クラブの強化」「学友会運営・地区委員会との関わり」「海外応募者対象奨学金制度の活用」の4つのテーマに分かれて、グループディスカッションが行われました。アンケートでは、「いずれも具体例があり、参考になった」「今後の委員会活動に取り入れるべきものがあつた」などの感想をいただきました。ご出席いただいた皆さまに御礼申し上げます。なお、次回の次期米山奨学委員長セミナーは、6月20日を予定しています。

韓国米山学友会が総会を開催 — 学友同士の結束新たに —

2015 年度韓国米山学友会総会が 11 月 21 日、ソウル市内のホテルで開催されました。韓国学友 57 人とその家族のほか、第 3650 地区ガバナーをはじめ韓国のロータリアンや、日本の関西学友会メンバーと第 2660 地区のロータリアンなど、多くの来賓が出席し、総勢約 90 人の盛会となりました。遠方から駆けつけた人や今回初めて参加したという人も多く、会場は終始、再会と新しい出会いを喜ぶ和やかな雰囲気でした。総会では、全炳台会長の再任が満場一致で承認され、当会の小沢一彦理事長からは「28 年ぶりにソウルで国際大会が開かれるこの 1 年を、韓国学友会にとって大事な 1 年にしてほしい」と、エールが送られました。



総会で満場の拍手を受ける韓国学友会役員

全会長のリーダーシップのもと、韓国学友会では年々、若い学友たちが運営に加わり、活動を盛り上げています。ソウル国際大会はもちろんのこと、米山学友を中心とした衛星クラブ設立や世界米山学友会のネットワーク立ち上げなど、これからの韓国学友会の活躍にご期待ください！

中国米山学友会が総会を開催 — 上海で 2 年半ぶり —

2015 年度の中国米山学友会総会が 12 月 6 日、上海市で開催されました。今年の総会テーマは「信念 奉獻 交流 民主」。“信念を持って人と交流をすればどんな困難も乗り越えられる”という、上海米山学友会劉京榕会長の人生観が込められたものです。今回は、2013 年 6 月以来およそ 2 年半ぶりの開催とあって、中国各地から学友が約 120 人、そのほか家族や知人、日本からのロータリアンなど総勢 140 人が駆けつけ、多くの学友が再会を喜び合いました。



総会では、幹事長の陶艶さんが上海分会の年間活動を報告したほか、副会長の焦徳思さんから、1 年前に急逝した柴生芳さんを記念し実施した小学校への図書寄贈プロジェクトについて報告がありました。また、当会小沢一彦理事長も、来年ソウル国際大会への参加を力強く訴えました。このほか、華北分会会長の嘉木揚凱朝さんのスピーチ、今年の世界剣道選手権大会で重傷を負いながらも中国チームをベスト 8 へ導いた楊敢峰さんによる太極拳の演舞、学友会活動に特に尽力した学友への表彰などがありました。劉会長は「2002 年に 8 人からスタートした上海米山学友会が今日多くの学友を迎え、強い絆で結ばれていることを嬉しく思う。今後 10 年、20 年、30 年と、この縁が続くことを願っている」と、述べました。

税制上の優遇措置について

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は、税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年 1～12 月に寄付をした方には、来年 1 月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12 月 30 日(水) 当会着金分まで**が対象です。

米山記念奨学会事務局は、**12月26日(土)～1月5日(火)**の間休業させていただきます。**来年は1月6日(水)より通常業務**となります。

